

一級自動車工学科・自動車整備科 2026年度 授業計画

時期	2年B巡	単元	実習	教科名	2B_車体電装2	
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	実習ノート		発行日	2026年4月1日
			サーキットテスト			
総時限	24時限		ラインマーカー	教科 担当	吉田 宗司 月井 悠介	
総時間	38.4時間		クロームブック			
単位数	1					

1. 実務経験のある教員による授業科目 該当

自動車整備士として、電気装置整備の実務経験がある教員により電装品の点検、測定、故障診断等及び自動車の電子制御系の電子制御方法、点検方法を指導する

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ①車体電装品の構造、機能を理解する
- ②車体電装品の点検、故障診断の判定が出来る

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

- ①電動ドアミラー装置の構成部品、名称、作動、電流の流れが理解出来るようになる
- ②電動ドアミラー装置の着脱、点検、故障原因探求が出来る
- ③車体電装品の配線図からの回路の抜き出し、点検が出来る
- ④外部診断機（コンサルト4）、サーキットテストによる電気回路の測定、故障判定が出来る

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

- 1) 履修試験での学習評価 実技試験 15点、筆記試験 85点にて総合評価する
整備科、国際科 60点以上で合格、工学科70点以上で合格
- 2) 出題試験項目
 1. 実技試験
 2. 筆記試験

5. 準備学習

事前に次回の授業内容範囲を予習して、実習ノートを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する
実習ノートをもとにテキストを用い、自動車各部の構成装置の名称、役割、目的を事前に調べてまとめておく

6. 学修時間と単位

本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。
1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間である。

時期	2年B巡	単元	実習	教科名	2B_車体電装2	
7. 授業概要（時限ごとの主な授業内容）					8. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	実習導入、概要説明 ドアミラー装置の構造、機能、作動/座学				KE0	10
2	実習導入、概要説明 ドアミラー装置の構造、機能、作動/座学				作業台（大）黒	10
3	ドアミラー装置構成部品確認				コードリール	10
4	ドアミラー装置システム確認(鏡面各作動、格納作動)				ドアミラーチェックボックス	10
5	ドアミラー装置構成部品、脱着1(ミラーカバー、ミラー本体、サイドドアパネル)				電導師	10
6	パワーウィンドウ装置構成部品、脱着2(故障診断用ハーネス取り付け)				コンサルトⅢPlas	10
7	ドアミラー装置正常電圧測定 1				オシロスコープ	10
8	ドアミラー装置正常電圧測定 2				プローブ	20
9	ドアミラー装置正常電圧測定 3				実習ノート	学生数
10	ドアミラー装置正常電圧測定 4				チェックボックスブランクシート	学生数
11	ドアミラー装置正常電圧測定 5				フェンダーカバー	10
12	故障原因探求の進め方/座学				フロントグリルカバー	10
13	故障原因探求（ドアミラー） 1				ハンドルカバー	10
14	故障原因探求（ドアミラー） 2				シートカバー	10
15	故障原因探求（ドアミラー） 3				マットカバー	10
16	故障原因探求（ドアミラー） 4				シートカバー	10
17	故障原因探求（ドアミラー） 5					
18	故障原因探求（ドアミラー） 6					
19	故障原因探求（ドアミラー） 7					
20	故障原因探求（ドアミラー） 8					
21	故障原因探求（ドアミラー） 9					
22	故障原因探求（ドアミラー） 10					
23	総合演習1					
24	総合演習2					
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						